

外濠市民塾

SOTOBORI SCHOOL FOR CITIZEN

第13回外濠市民塾 / 第2回オンラインレクチャー

1. 実施概要
2. レクチャー詳細
3. アンケート結果
4. 所感

2021.07.21(Wed)

実施要項

日時・会場

日時：2021年7月21日(水) 18:00～19:30

場所：ZOOM ミーティングによるオンライン開催、2021年8月末まで動画公開

レクチャー概要

講師：元千代田区職員・NPO 法人神田学会理事 小藤田正夫氏

「外濠 150 年—未完の都市計画公園としての外濠変遷—」

主催

外濠市民塾実行委員会

参加状況

最大同時接続数：56 人

スタッフ・協力

外濠市民塾実行委員会

委員長	陣内秀信（法政大学）
	福井恒明（法政大学）
	郷田桃代（東京理科大学）
	小松妙子（法政大学）
	高道昌志（東京都立大学）
	亀田和宏（大日本印刷）
	廣田幸司（大日本印刷）
	田崎渉（電通 tempo）

運営協力

法政大学エコ地域デザイン研究センター

東京理科大学外濠及び神楽坂地域調査研究推進室

東京都立大学大学院都市政策科学域 外濠研究チーム

法政大学江戸東京研究センター

三輪田学園

日本大学理工学部まちづくり工学科歴史まちづくり研究室

中央大学理工学部都市環境学科河川・水文研究室

新宿区立四谷図書館

大日本印刷ソーシャルイノベーション研究所

電通 tempo

時程

18:00 ~ 18:10 冒頭挨拶 福井恒明 先生（法政大学教授）

18:10 ~ 19:30 講演 小藤田正夫 氏（元千代田区職員・NPO 法人神田学会理事）

レクチャーの様子



講師： 小藤田正夫 氏（元千代田区職員・NPO 法人神田学会理事）



都市計画東京地方委員会議事速記録第4巻（都市計画東京地方委員会，1993）

レクチャーの様子（昭和8年3月に告知された外濠公園のエリア図）

レクチャーの要旨

「外濠 150 年—未完の都市計画公園としての外濠変遷—」



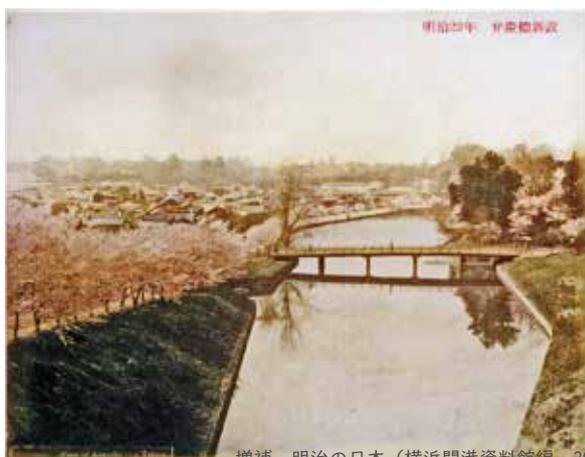
史跡江戸城外濠跡 保存管理計画書（千代田区教育委員会編集，2008）

赤坂見附から牛込見附の間に「史跡 江戸城外濠跡」が存在するが、文化財の方が使用すると「堀」は土偏となる。江戸の古文書には土偏の「堀」しかない。



そこにあった江戸 幕末明治写真国会（上條真生共著，2018）

明治初年，高麗門から赤坂方面にかけて土手の端には桜や樹木を植えないようにしていた。これは，軍事施設のため人が隠れるようなものを作らないためである。



増補 明治の日本（横浜開港資料館編，2003）

明治 22 年，弁慶堀の上に弁慶橋が新設され，小土手の上には桜が植えられる。しかし大正 9 年に弁慶橋を壊し，濠を埋め立てる東京府計画が出される。



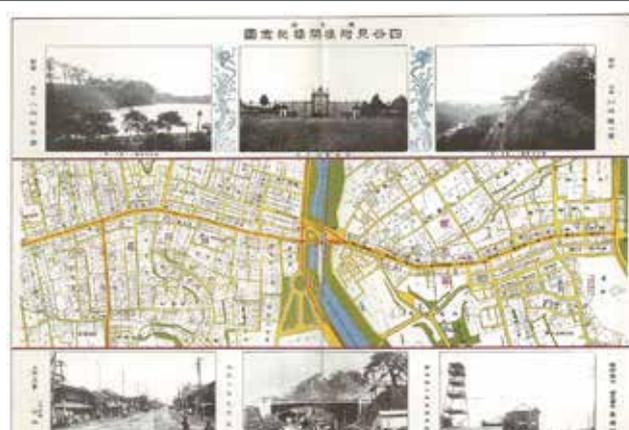
東京都市計画資料集成 第5巻（本の友社，1987）

甲武鉄道は明治 26 年に新宿駅から代々木を経て青山練兵場を通過する市街線工事に着手した。翌年には日清戦争が勃発し，鉄道工事がタイムリーとなる。



道 路 の 附 東京案内 下巻（東京市編，1907）

明治 28 年には四ツ谷駅が開設し，現存する御所トンネルを通過している。御所トンネルは都内にあるトンネルの中で最も古いとされている。



四谷見附橋物語（四谷見附橋研究会編著，1988）

四谷見附には路面電車が通っていたが，クランクがあり使いにくいので，大正 2 年に四谷見附橋が作られた。近くの町屋に職人が住んでおり工事を支えていた。



新日本鉄道史 上 (川上幸義, 1966)



東京都市計画資料集 第6巻 (本の友社, 1987)

現在の外濠公園野球場付近であるが、堀は軍事施設として埋めないよう大切に管理されていた。また、江戸期の緑化は区域がはっきり区別されていた。

新見附は鉄道工事に合わせて作られた。明治26年に新道開設の願いが東京府へ出されるが、この工事は市ヶ谷二丁目の甘酒屋呉服店が仕掛けたとされる。



新撰東京名所図会 第177号 (東陽堂, 1898)



法政大学の100年 (法政大学百年史編集委員会, 1980)

明治31年頃の飯田町駅は甲武鉄道のターミナルとなり、三崎町は劇場など多くの施設が建てられた。後に水道橋や万世橋への通過点となり撤去される。

大正10(1921)年、法政大学が靖国神社付近から現在の場所に移転して竣工した頃の牛込濠では、女学生がボートに乗って遊んでいた。



法政大学の100年 (法政大学百年史編集委員会, 1980)



中央線水道橋中野間改築停車場見取図 (鉄道省東京第二改良事務所, 不明)

大正10(1921)年に法政大学が現在の位置に竣工して以来、法政大学の学生が土手に入り込んでおり、その様子を新聞が取り上げた。

鉄道の貨物線と旅客線を分離するために四ツ谷トンネルを増設し、加えて新四ツ谷見附橋の下に通した。四ツ谷の停車場付近には立体交差する線路がつけられた。



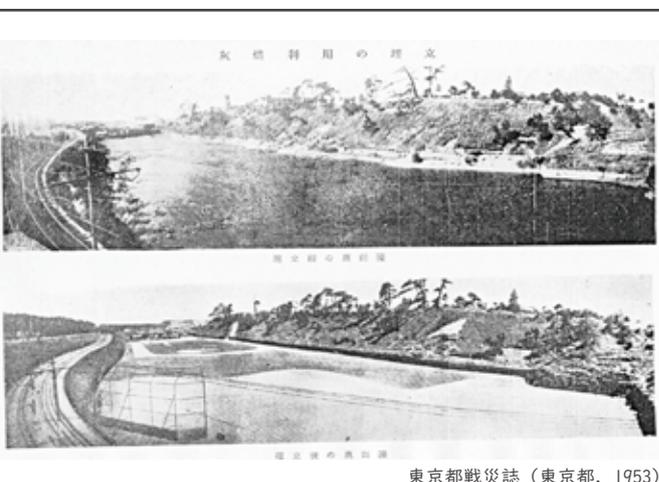
大正 15(1926) 年 7 月頃には、鉄道省の資材置き場や砂利の置き場を作るために市ヶ谷壕の埋め立てが行われた。



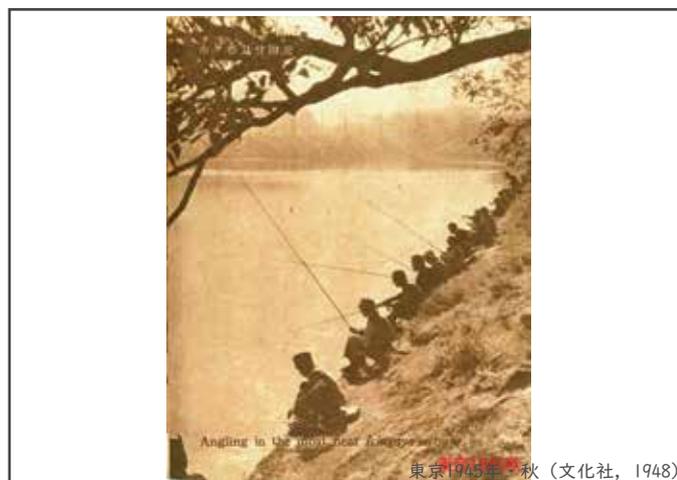
外濠公園は、新聞において「帝都最長のハイキング・コース」として取り上げられた。当時は、グラウンドや野球場、児童公園などを設ける計画であった。



第二次世界大戦中の空襲により、法政大学の本校舎や外濠公園は焼かれてしまった。また、真田濠や弁慶濠も焼けてしまい水が干上がってしまったという。



上智大学は専用のグラウンドを作るために真田濠の土地を 3000 万円 (戦後当時) で買い取り、埋め立てを行った。



戦時中に食糧不足を打破するためにナマズなどの魚が外濠に放流されており、昭和 20(1945) 年秋頃には、市ヶ谷濠沿いでたくさんの方が魚釣りをしていた。



昭和 49(1974) 年には、現在の東京メトロ有楽町線 (地下鉄) が開通した。メトロは東京を縦断するように占有しているのが特徴的である。

参加者の声

■参加者から 20 件のアンケートを回収。回答の集計結果は以下の通りです。

1. 今回のプログラムを通じて感じた感想や、新たに学んだことなどがありましたら、教えてください。

- ・外濠の変遷について、詳しく知ることができた点が大変有意義でした。
- ・外濠の歴史について多くの知見、経緯が良くわかりました。感謝いたします。
- ・小藤田さんの見識と現物を持って見せて頂くことに改めて驚きました。有り難うございました。
- ・外濠、外濠公園の歴史の文脈を、都市施設、法律、人物など、多角的な視点から読み解き、さらに、新聞記事などのミクロな情報を蓄積されており、非常に興味深いものでした。
- ・濠のかつての形はなんとなく知っていたが、近世での変貌がよくわかった。鉄道との関係が特に興味深かったです。
- ・歴史的な内容を分かりやすく解説して頂き感謝しています。
- ・貴重な豊富な資料に釘付けになりました。鉄道建設との関わりがよくわかりました。
- ・私の人間形成の原点である法政大の周辺地域、外濠公園・その他の、主として立地環境変化・都市計画変化・交通流路等に係る「近・現代史の変遷？」について、詳細・貴重な視覚資料による解説に、新鮮な驚きと感動を覚えました。
- ・外濠のこれからが少しわかりました。
- ・過去の貴重な写真を拝見でき、また行政の管理の経緯などを知ることができました。
- ・顔出し OK の会議でちょっとびっくり。
- ・都市化とは恐ろしいものだと感じました。諸々のしわ寄せが外濠に来ていたとは・・・。
- ・江戸末期からの外濠の変遷が分かり、ちょっとスッキリした気分です。講師の方の資料やプレゼンが公開資料になるといいですね。
外濠資料室を作ったらどうですか？
- ・興味があった演題で非常に深みがある話で大変参考になり有り難うございました。
- ・初めての参加で、資料を読むよりいろいろとお話が聴けてとても勉強になりました。
- ・残念ながら、時間に間に合わず、欠席でした。
- ・貴重な資料をご紹介いただきありがとうございました。
- ・当時の外濠の資料でもあったように親水性があり、外濠がより身近に感じられる景観になると良いと感じました。

2. 外濠市民塾について、ご意見・ご感想をお聞かせください。また、今後実行してほしい企画がありましたら教えてください。

- ・多数の知見を大いに発信していただければと思います。また外堀に限定せず、江戸・東京の発展史にまで展開いただければ、有難いです。
- ・面白い企画です。
- ・都市の成り立ちをじっくりと知ることができる素晴らしい企画です。ありがとうございます。手元に地形図を広げながら聴講しました。
- ・かつて公園構想があったお話に、残念な気持ちでいたところ、ご講演の最後に、このような活動をされているとのお話に、希望が持てました。3区から更に広がって人々が河川と親しめる環境を作っていければと思います。ソウルの川の再生のお話なども聞きたいと思います。
- ・1960年代後半、社会学から入って、「経済的社会構成体の自然史的過程探求」へ進行してきた当方、近年創設された様子の「貴塾」について、最近のメールによって知覚した次第。タイミングが合致した折には、いろいろ学ばせていただきます。
- ・外濠の貴重な過去の情報、現在の活動など講演会を開催されるとともに、今回の講演をHPなどでライブラリーとして後世に残されることを期待します。
- ・私は神田川ネットワークの所属で、神楽坂に事務所があります。小藤田さんのお話は大変参考になりました。お持ちの資料も私では到底探せないもので、大変貴重なものと思います。電子出版でも良いのでぜひ出版をお考えいただきたいと思いました。一番先に買います。
- ・縦割り行政のハザマに抗する提案は民意しかないというのも悲しいことですが現実。
- ・外濠は何故土塁にしたのか、その盛り土工法について等
- ・外濠維持管理において今後のビジョンがあれば教えて頂きたいです
- ・しばらくは、お任せで
- ・いつも貴重な体験をさせていただきありがとうございます。

3. あなたと外濠について教えてください(複数回答可)。

近くに住んでいる	2
近くに住んでいたことがある	1
近くに通勤・通学している	5
近くに通勤・通学したことがある	7
近くで事業を営んでいる	1
飲食・買い物・遊びなどで付近に来ることがある	3
今まであまり関わりがなかった	3
その他	1
(外濠水辺再生協議会に参加している)	

4. 外濠市民塾への参加は何回目ですか。

1回目	11
2回目	6
3回目以上	5

5. 外濠市民塾を何でお知りになりましたか（複数回答可）。

外濠市民塾ウェブサイト	2
Facebook	1
パンフレット	0
外濠市民塾関係者（実行委員・スタッフ）から	5
知人（関係者以外）から	9
その他	9
（外濠市民塾の運営に関わった、法政大学からの紹介、江戸東京研究センター）	

6. 参加を決められた理由を教えてください（複数回答可）。

外濠に関心がある	13
外濠周辺地域に関心がある	10
プログラムに興味を持った	10
その他	2
（明治期の写真を見る機会が増え、変容の仕方に興味を持った）	

7. 次回以降の外濠市民塾のイベントに参加してみたいと思いますか？

ぜひ参加したい	12
予定が合えば参加したい	10
まだ分からない	0
参加しない	0
無回答	0

藤田 景 (法政大学)

第 13 回外濠市民塾では、元千代田区職員の小藤田正夫氏によるオンラインレクチャーが行われました。5 月に引き続き 2 回目の開催となります。今回のオンラインレクチャーでは、江戸期から昭和期の外濠を中心とした千代田区の歴史変遷を、数多くの古地図・古写真から学ぶことが出来ました。講義の中で、実行されなかった公園計画があったことを知りました。もし実行されていたら今の外濠はどう変わっていたのか、外濠の成り立ちについて深く考える機会となりました。また、小藤田さんの「風景にはそれを成り立たせるシステムが必ずある」という言葉が特に印象に残っています。誰がどう管理してきたのか、どういった経緯でこの風景が形成されたのか、今だけでなく“過程”を学ぶことが重要であると感じました。第 12 回・第 13 回ともオンライン開催となりましたが、外濠に対する新たな学びが多くとても楽しかったです。次回はぜひ対面で開催し、参加者の皆さんと意見交換を行いたいです。

宮崎 守恵 (東京理科大学)

第 13 回外濠市民塾は 2 回目のオンラインレクチャーであり、元千代田区職員・NPO 法人神田学会理事 小藤田正夫氏にご講演頂きました。外濠の変遷について、多くの資料をもとに詳しく説明して頂いたのですが、今の外濠がどのような歴史を辿って今の状態になったのかとても分かりやすい講演でした。恥ずかしながら外濠市民塾のメンバーとして属していながら、知らないことがほとんどでした。そのため大変興味深く、また知識を深めることができ、とても有意義な時間を過ごさせて頂きました。特に今回は、都市計画公園としての外濠の変遷についてご講演頂いたこともあり、どのような都市計画がなされようとしていたのか、全体の流れをご説明して頂きました。歴史の流れ全体として、公園にしようとして掛け合ったり、埋め立てに反対したりなど、外濠の景観を守ろうとする方々はいたのだと嬉しく思う反面、それが叶わなかったことに対する切なさを感じました。そのように感じたからこそ、今後の外濠市民塾の活動がより有意義なものになるように、私自身も気を引き締めて邁進したいと思います。

藤原 諒也 (日本大学)

第 13 回外濠市民塾では、「外濠 150 年—未完の都市計画公園としての外濠変遷—」をテーマに、第 12 回に引き続きオンライン形式の講演会を開催しました。今回の外濠の変遷についての講演会は、自分自身まだまだ外濠について知らないことも多いため、大変勉強になりました。特に、外濠は河川の分類に指定されており都市公園に含まれていないため、都市公園法による整備や管理を行うことができず、外濠を管理する法律が存在しないということを知らなかったのもとても印象的でした。また、「外濠は行政境に位置しているため、これまで取り組みが進められず、行政境を超えたまちづくりを行うためには、地域との一体的な取り組みが必要である。」ということで、外濠市民塾が作られたという経緯を改めて知ることができたので、外濠市民塾の意義を意識して今後の活動に繋がっていきたいと思います。

佐々木 里菜 (東京都立大学)

今回初めてオンラインレクチャーを受講しました。私は外濠市民塾に加入したばかりなので、外濠についての知識がほとんどなく、外濠がかつて都市計画公園であったことや、現在は緑地で風致地区として守られていることも初めて知りました。外濠地域のまちづくりについては、外濠が 3 区にまたがっていることから、自治体だけでなく外濠市民塾のように地域一体となった取り組みが必要であるとお話いただき、外濠市民塾の活動の意義を再認識するとともに、行政だけの維持管理の難しさを学びました。個人的には、当時の法政大学の学生が勝手に土手に降りたため警察とよく揉めていたことや、外濠で釣りを楽しむ人がいたというお話が大変興味深く、水辺の親水機能というのは今も昔も変わらず人間に必要とされているのだなと思いました。また、外濠が埋め立てられずにすべて水辺のままであったら、今の東京の風景はどのようになっていたのか、ぜひ見てみたいと思いました。